

【本調査の背景】

平成30年度報告書公表以降、携帯電話市場においては、通信料金と端末代金の完全分離等を内容とした改正電気通信事業法の施行(令和元年10月1日)、事業者(楽天モバイル株式会社)のMNOとしての新規参入など、競争環境に変化が生じていることからフォローアップ調査を実施することとした。

【本調査の目的と3つの視点】

フォローアップ調査では、以下の3つの視点からこれまでの取組が有効に機能しているかどうか、どのような取組が有効かを明らかにし、携帯電話市場における競争の活発化を図っていく予定である。

3つの視点

①MNOとMVNO間の競争活発化

- ・MNO接続料の引下げや機能開放
- ・スイッチングコストの低減

②MNO間の競争活発化

- ・スイッチングコストの低減

携帯電話市場における
競争の活発化

③消費者が最適な料金プランを選びやすい環境の整備

- ・事業者と消費者の情報格差の解消

(※)今後調査を実施するに当たっては、(1)MNO、MVNO等関係事業者へのヒアリング、(2)消費者向けのアンケートなどの実施を予定している。